

【情報提供】上海葵井商務諮詢有限公司

上海市華山路301号 静安商楼211室 TEL: 021-6248-8007

URL: <http://www.aoi-bc.com/> e-mail: shanghai@aoi-bc.com

【編集/提供】葵ビジネスコンサルタンツグループ 東京本部 横田税務会計事務所

〒143-0022 東京都大田区東馬込1-12-12

TEL: 03-3775-1220 FAX: 03-3775-1156

URL: <http://www.ykss.com> e-mail: info@ykss.com

【上海事情】

「Twelve Girls」のCDを買って

上海では大通りの歩道に屋台のような店舗が多く出ていて、そこでは音楽CDやPCソフト・VCD・DVDを販売しています。浦東エリアですと繁華街の第一ヤオハン前や浦西では上海葵井の前の華山路でも、「堂々と」販売しています。価格はCDで「5元 JP¥70」、DVDでは「8元 JP¥110」程度です。もちろん警察が来ると、売り達は急いで片付けて、荷物を担いで逃走に移ります。

今回はたまたま「Twelve Girls」、日本名「12楽坊」の音楽CDを見せられたので、購入しました。輝煌: Shining Energyで17曲入りの6元でした。自宅で聞いたところ、問題も見つからず得た気持ちですが、間違いなく「フェイクCD」でしょう。

現在、欧米企業や日本企業が悩まされている「知的財産権」の面から、考えてみますと、今までは加害者は「中国人 or 中国系企業」でも被害者は「欧米・日本企業」ですから、中国政府にとっては「フェイクCD」の取締りを強化しても、直接的な収益には結びつきません。つまり、何もメリットがないので、他の国や国際的な取締機関から文句を言われぬ程度に実施していたのではないかとも思えます。

フェイクの製造業者は地方に工場を持ち、製作して、省政府や市政府へ多くの税金を支払い、多数の人を雇用する優良企業として保護されているようです。また、販売者もほとんどが外地人(上海人が地方出身者へ対する蔑視言葉)ですので、もし、取締りを強化した場合の反動として、治安や生活面でのマイナス状況も考えられます。(上海人は外地人に対して、そこまで考慮していないでしょうが)しかも、製造業者と販売者は高額のCDを安く中国人に提供しているのですから、感謝されることはあっても、文句を言われ、その上、逮捕され、罰金を払わされた場合でも理由を理解できません。

中国人の知的財産権への意識

なぜフェイクを作って悪いのか、罪の意識はない。安く作ってあげて、購入者からも喜ばれて、販売も好調なのに、なぜ同じ形や似たデザインで作っていけないのか不思議だと思っています。逮捕されても、小額の罰金を支払うだけです

* 日本でも30～40年前には、欧米系のブランドに似せたり、フェイクを作ったり、購入したりする事に「罪悪感」は全くありませんでした

中国でのフェイクについて

* 完全な偽者

:ブランドに似せて作った物品・マークやそのブランドに存在しない物品

* 偽者の本物

:ブランドと全く同じ材質で、全く同じ製造方法で作られた物品

Ex.シャツの場合だと、製造業者が委託加工されて**余った生地、余らせた生地**でブランド・シャツを作り、本物のタグを依頼された別のタグ製造業者から「**本物のタグ**」を購入して、縫い付ける。ブランド品との相違は全くないシャツで、もちろん販売価格は安い（上海でも販売しています）

ところが、「12 楽坊」については日本での知名度が高い中国人音楽家グループです。中国で CD を偽造して、10 分の 1 以下で販売すれば日本でも正規の CD が売れなくなり、今度は中国人も被害者になります。プロデューサーや 12 楽坊メンバーの個人所得税が大幅に減少して、中国政府自身も被害者になります。

そこから予想される「知的財産権」の対応策として、

フェイクの製造や販売に対する規制&取締りの強化や罰則金を大幅にアップする
現状維持のままにする:触らぬ神に祟りなし!

の政策に変更した場合、製造工場のある地方政府と「税金の取り合い」という強烈な戦いが待っているでしょう。一種の権力闘争になってしまい、「嫌がらせ」だと地方政府からは判断されるかもしれません。の現状維持していると、欧米系や日系企業だけでなく、今後の中国系企業へもマイナス面が大きくなる可能性が高くなります。

現実に「青島ビール」や「Haier:ハイアール」のような中国系でも知名度の高い企業では、中国国内でフェイク製品が多数販売されていて、多大な被害を受けています。

このような被害状況から中国政府が「知的財産権」に対して、厳守を決断・実行しても、中国国内の「北京と地方政府との闘争」や「貧・富」問題も絡んでくるため、解決の糸口を簡単には見つけられないだろうと予想しています。

今月のポイントとして

中国でフェイクの取締りには時間とお金がかかり、大変に難しいので、フェイクが出現しない、又は出現しにくい方法や種類を考えたり、フェイクが登場する事を前提にして対策を実施したりする必要があります。
フェイクが登場しない商品等は、逆に中国では「販売不振」商品とも考えられます（言うは易く、行うは難し）

05 年の春には、上海で有名な偽者市場「襄陽市場」は封鎖になる予定ですが、でも中国ですから、次の偽者市場が必ず登場して来るでしょう。

05 年の予想

人民元 = RMB の切り上げはあるか？

:03/12、04/3 に続いて 04 年秋にも切り上げ説が浮かんできました。3 度目の正直になるか、またまたえんきになるのか？

新たな脅威「鳥インフルエンザ」に新種が登場して、人間から人間に発病するか？

中国の電力事情は改善されるか？

: 不可能だと言われています。「電力供給」権という利権が絡んできましたので、現在の成長・発展が続く限りでは「大幅に改善されない」と予想されています

不足状況を補えるか？

: 「経営者・管理者不足」も相変わらず変わりません

: 「土地不足」「水不足」「労働者不足」も目立ってきました

中国に進出した日系企業の「現実」が表面化しそうです

: 本社や投資家はその「中国での経営状況」を正しく理解できるか？

: 経営上の問題である「在庫管理」と「会計」の業務を厳格化に出来るか？

: 問題点や経営上の膿を出して、健全化を進める「勇気」を持てるか？

(利害関係があるので、社内に修羅場が出現しますから、大変です)

鈴木 文人 記